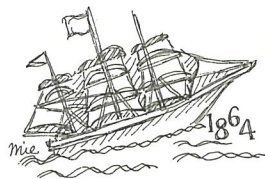


THE LATEST DOSHISHA



法人部

●第二十六回新島講座

四月十九日大学頌真館、四月二十日大学神学館礼拝堂で第二十六回新島講座が開催された。本年は同志社創立百二十五周年にあたることもあり、同志社と最も友好が深い大学であるアームスト大学長のトム・グレティ氏を講師にお迎えした。講演は第一回が「アームスト大学におけるリベラル・アーツ教育―オープンカリキュラムの功罪―」と題して行われ、学生が自分の意志で

自由に科目を履修することができるアームスト大学のカリキュラムの功罪を説明しながら、リベラル・アーツ教育で一貫して中心となっているのは自由であり、今後モーパーン・カリキュラムを遂行していきたいと講演された。第二回は「アメリカにおけるリベラル・アーツ教育―その伝統と問題点―」と題して行われ、「政治的な伝統」「宗教的な伝統」「ソクラテスの伝統」という三つの切り口からリベラル・アーツの伝統について講演された。講演の記録は追って出版の予定である。第二回講演終了後、新島会館において「同志社とアームスト大学その過去と未来」のテーマでセミナーが行われ、両校の歴史を振り返りながら今後の友好のために有意義な意見交換が行われた。

●二〇〇〇年春の叙勲・叙位

同志社大学名誉教授小橋一郎氏が勲三等旭日中綬章、同志社女子大学名誉教授酒井康氏が勲三等瑞宝章をそれぞれ受章され、五月十一日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●二〇〇〇年度入社式

四月三日、大学神学館礼拝堂で入社式が

行われた。本年度の採用は、大学教員十八人、女子大学教員十八人、国際中学校・高等学校教員一人、香里中学校・高等学校教員三人、女子中学校・高等学校教員一人、

中学校教員一人、大学職員十人の計五十二人である。松山義則総長と野本真也理事長から歓迎のことばが述べられ、野本理事長から一人一人に辞令が手渡された。

大学

●工学研究科「知能情報科学とその応用」が二〇〇〇年度私立大学学術フロンティア推進拠点に選定される

私立大学の中から社会的要請が強い重要課題について優れた成果をあげ、将来の研究の発展が期待される卓越した研究組織を指定し、共同研究のためのセンターを整備、共同研究を行うことで科学技術の推進に資することを目的としている文部省の「学術フロンティア推進事業で、今年度の「学術フロンティア推進拠点」に本学工学研究科「知能情報科学とその応用」が選定された。

二〇〇〇年度から五年間にわたって行われるこの研究プロジェクトでは、生物が持

つインテリジェントな方法を工学に応用する目的で、知的エンジニアリングデザイン手法の構築、知的情報処理およびメディア情報処理、ならびに知的化のための基礎理論の構築が行われる。

なお、プロジェクトのために高速数値計算サーバー、超並列進化シミュレーター、磁気共鳴画像装置、音響心理実験設備などを備えた「知能情報センター」の建設を進めており、三月末に完成の予定である。

●第二十一回外国文化週間 「世界のアニメーション」

四月二十四日から五日間にわたり、「ポピュラー・カルチャー」を本年度のテーマに、「世界のアニメーション」を小テーマとした映画祭を開催した。

これはラテン語の「anima」（靈魂）をその語源とするアニメーションの多様な形式に目を向け、表現手段やメッセージ媒体としてアニメーションが有する可能性と制約について考察することを主眼としたものである。期間中は作品上映に加え、世界的なアニメーション制作者、山村浩次氏の講演会も開催し、制作現場からの具体的な話によって視聴者のアニメーション理解を補強

した。

●「新島襄・同志社ゆかりの碑」展

六月一日から九月十四日まで、創立者新島襄が国禁を破ってアメリカへの密航の途についた記念の地に建つ「新島襄海外渡航乗船之处」碑をはじめ、全国に建立されている同志社ゆかりの碑の写真を多数集めた「新島襄・同志社ゆかりの碑」展を開催した。期間中には河野仁昭「元同志社社史資料室長による「徳富蘇峰・蘆花兄弟の碑」群馬県伊香保温泉に見る」、本井康博「大学嘱託講師による「新島襄の文明・教育観——『良心碑』をめぐって——」と題した公開講演会も行われた。

●「同志社函館講座」開催

七月一日、同志社大学・同志社女子大学の共催により「同志社函館講座」が開催された。

この講座は、両大学の多彩な教育研究活動の成果を広く社会に公開し、社会からの生涯学習に対する期待に応えるものとして二年前にスタートしたもの。一昨年の熊本、昨年の盛岡、群馬に続き、新島襄ゆかりの地「函館」で開催の運びとなった。

講座は八田英二大学長の挨拶に続き、「生

きがいを考える」をメインテーマに、千田忠男大学文学部教授による「この時代をどう生き残るかー現代社会と働きがいー」、三根浩女子大学学芸学部教授による「情報化社会とストレス」というテーマで講演が行われた。

また、今回の講座では会場に「新島襄が描いたスケッチ」と題したパネル展示も併設した。会場には両大学の卒業生をはじめ、一般の市民の方々約百十人におよぶ幅広い層の受講者を迎え、盛会のうちに終了した。

女子大学

●コミュニティセンター（京田辺） 建物名称「友和館」に決定

京田辺キャンパスのコミュニティセンターの名称が友和館に決定した。出典は旧約聖書の詩編、「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び」（一三三編一節）、「わたしは言おう、わたしの兄弟、友のために。『あなたのうちに平和があるように』（一一二編八節）より。同志社女子大学の学生たちが、丘の上にあるコミュニティセンターに足を運び、そこを

通り抜けようとするとき、キリスト教精神に立脚した学問の真理にもまた近づき、出会って欲しいとの祈りが込められている。

●音楽学科オペラ公演

二月二十六日(土)新島記念講堂で、第十三回オペラ公演が上演された。演目は、永遠不朽の名作「フィガロの結婚」。このオペラは音楽学科声楽コースの授業の一環でもあり、「オペラII」を履修している学生を中心に手作りで進められてきた。指導は坂口茉莉同志社女子大学講師。多数の観客で賑わい、公演は大成功を取めた。

●放送大学と単位互換協定締結

同志社女子大学と放送大学が単位互換協定を結び、二月二十四日(木)、京田辺キャンパスで調印式が行われた。二〇〇〇年度以降入学の学生を対象に放送大学のCSデジタル放送によるテレビ授業などで修得した単位を、同志社女子大学の卒業に必要な単位に算入することができる。京都における四年制女子大学では初めての締結校となる。

●資格取得支援講座開設

同志社女子大学在学生を対象に、受講料無料の「資格取得支援講座」を開設。二〇

〇〇年度春学期開設の講座内容は「英語検定準一級対策講座」「TOEIC五〇〇点UP講座」「TOEIC六〇〇点UP講座」「TOEIC七〇〇点UP講座」「TOEFL(海外留学)対策講座」の五講座。秋学期からは更に分野を広げて、「社会保険労務士受験対策講座」「行政書士受験対策講座」「簿記検定(一・二・三級)対策講座」「国連英検(A・B級)対策講座」「旅行業英語検定(A・C級)対策講座」「中国語コミュニケーション能力検定(TECC)受験対策講座」を開講予定。

●頌美館リニューアル工事完了

奉献式挙行

今出川キャンパスの旧音楽棟であった頌美館(旧称・頌啓館)を事務棟として再生するための全面改修工事が完了し、四月十八日(火)奉献式が執り行われた。エレベーターも新設され、設備も充実。新築同様の仕上がりになり、関係者からは感嘆の声があがった。

●現代社会学部開設記念フォーラム

現代社会学部社会システム学科開設を記念して、六月三日(土)栄光館ファウラーチャペルで開催。明石康氏(日本予防外交セン

ター会長・前国際連台事務次長)による「日本の国連中心外交の将来」と題した講演の後、パネリストとして同志社女子大学教授岡島貞一郎、渡辺周央、田口奉童、コディネーターとして同志社女子大学助教授池島大策を交え、パネルディスカッションが行われた。また、講演後も活発な質疑応答がなされ、盛会の内に終了した。

●音楽療法公開講座

六月三日(土)、知徳館で稲田雅美 同志社女子大学助教授による「こころをむすぶ音—ミュージックセラピーの世界—」と題する公開講座が同志社女子大学音楽学会(頌啓会)の主催により開催された。多数の参加者で賑わい、盛況であった。

●日本語日本文学会第十五回総会記念講演会

六月十四日(木)、知徳館でブルガリア人のクリステワ・ツペタナ氏(中京女子大学教授)を講師に迎えて開催。「日本語はホント面白い」と題する講演が行われ、盛況であった。

高等学校

入学試験

二月四日(金)・五日(土)

応募者三百三十二人(うち女子百一人)。合格発表は八日(火)に行ったが、合格者数は百四十一人(六十五人)で、昨年度に比し応募者は二十三人少なく、実質倍率は約二倍から約一・六倍に低下した。

卒業式

三月十日(金)

卒業生三百九十四人(うち女子二百四人)の進学状況は次の通り。

同志社大学推薦

三百二十八人(百五十八人)

同志社女子大学推薦

二人

国立大学

二十二(十六人)

私立大学

二十五(十八人)

アメリカの大学

一人

新入生オリエンテーション

同志社中学生

三月二十四日(金)

入試合格者

三月二十五日(土)

入学式

四月八日(土)

同志社中学から三百十八人(うち女子百七十三人)、入試合格者八十三人(三十二人)、計四百一人(二百五人)。

宗教週間

六月五日(月)～十日(土)

「それでおしまいではない」

一 木千鶴子氏(丹波新生教会牧師)

「山に登るイエス」

井上勇一氏(関西セミナーハウス所長)

「私の青春時代」

山口 昇氏(玉川聖学院・戸板女子短大)

講師)

「十七歳、命の尊厳を問う」

岡部元英氏(北白川バプテスト教会牧師)

十日(土)には教職員・生徒十数人が花をもつてバプテストホームを訪ね、ホザナ部員は数々の懐かしい歌を披露して喜ばれた。

教育実習

六月五日(月)～十七日(土)

キリスト教学二人をはじめ十七人(うち女子十人)。

教職員同和研修会

六月二十一日(水)

講師は、河瀬哲也氏(どの子も伸びる研究会事務局長)。効率優先の管理社会、多様な価値観の錯綜する現状において、確たる主権者育成のためには、教師自身の心とともに頭もフレキシブルでなければならぬとの見解は共感できるものであった。

二・三年生団体鑑賞

七月十二日(水)

東京芸術座「勲章の川」

新島記念講堂

一年生クラス合宿

七月十七日(月)・十八日(火)

府立ゼミナールハウスほか七会場。

ウェスリー(メルボルン)・ホームステイ

七月二十六日(水)～八月十六日(水)

女子六人・男子三人。付添・津田能人教諭。

香里中高

中学校入学試験

一月十五日(土)

志願者数は六百八十三人、合格者数は二百七十九人であった。京都府下の私学と受験日が重なったため、昨年度にくらべ志願者数が半減している。

高等学校入学試験

二月四日(金)、五日(土)

志願者数は三百五十三人(うち女子五十九人)、合格者数は三百十一人(うち内部進学者二百十三人)であった。

入学式

四月十日(月)

中学二百四十九人、高校三百九人が入学した。本校で初めての女子生徒四十三人もやや緊張した面持ちで式典に臨んだ。

中学一年生オリエンテーション

四月十九日(水)～二十一日(金)

校祖墓参の後、浜名湖レークサイドプラ

ザで、キャンプファイアーを行う。二十日、雨天のため体育館でドッジボール大会。二十一日、遊覧船で浜名湖周遊、鍾乳洞など見学後、帰京。

●高校一年生オリエンテーション

四月二十四日(月)、二十五日(火) 近江八幡国民休暇村で、同志社の歴史、学校行事の説明・生活上の注意、同志社で学ぶ意義などを研修。

●宗教教育教職員研修会

六月七日(水)

講師は同志社女子大学特任教授武邦保先生。主題は「キレタ関係とキレナイ教育」であった。先送りされる未完成部品のような卒業生と送り出す学校側の問題点、最近多発する青少年の凶悪犯罪は高度な近代企業中心の特定都市に限られた問題ではないこと、メディア産業中心の高度な情報化の波は何をもたらすのか、などについて、体験や実例をあげ説明された。

●教職員同和研修会

六月二十一日(水)

大阪府立桃谷高校教諭椎口育郎先生を講師に迎え『障害』生徒の高校生活に関わって』と題した講演が行われた。障害者用の施設・設備の整備は単なるシンボルになりやすく、『バリアフリー』の実現には必ずし

も結びついていないこと、障害者は障害の克服を目指して頑張らねばならないのか、望ましい障害者像の押しつけは障害者を抑圧していないか、障害者は「その人自身」である前に、なぜ「障害」という属性で語られてきたのか、などについて定時制高校の現場から体験をもとに話しいただいた。

女子中高

●卒業式

三月十七日(金)

中学校・高等学校合同の卒業式が行われた。

●修学旅行

中学二年生は、三月二十日(月)～二十二日

(水)の二泊三日の日程で、長崎への修学旅行を実施。ハウステンボス、長崎市内での自主研修を行った。

高校二年生は、三月十八日(土)～二十一日(火)の三泊四日の日程で、沖縄での修学旅行を実施。

中学、高校ともに、自主研修を中心として、平和学習を行った。特に、それぞれの平和講話には多くの生徒たちが感銘を受け

ていた。

●スキー学会

中学三年生の希望者を対象に三月二十四日(金)～二十八日(火)の日程で、高校一年生の希望者を対象に三月二十日(月)～二十四日(金)の四泊五日の日程で、樺池で実施。

●入学式

四月七日(金)

入学式が厳粛に執り行われた。中学新入生は二百二十九人、高校新入生は本校中学からの二百四十七人に高校受験合格者の十五人を加えた二百六十二人であった。

●女子部創立記念日

四月二十一日(金)

女子部創立百二十三周年の記念礼拝をもった。礼拝の特別講師には、同志社女子大学特任教授の坂本清音先生をお迎えし、奨励をいただいた。

●春季遠足

五月十一日(木)

中学二年生は淡路花博、三年生は滋賀県農業公園ブルーメの丘、高校一年生は六甲山牧場、二年生は滋賀県長浜、三年生は信楽にて陶作と学年毎に遠足を実施し、親睦を深めた。

●中学一年生修養会

五月十一日(木)～十三日(土)

丹波篠山のユートピア篠山にて、なかよ

くならう」を主題に、修養会をもち、同志社で学ぶ意義を考えた。

●母の日礼拝

五月十五日(月)は高校対象、十六日(火)は中学対象で、母の日礼拝を持った。カーネーションの販売収益金と募金を好善社に送った。

●芸術鑑賞

五月三十日(火)
京都コンサートホールにて、京都市交響楽団、鴛淵紹子先生のオルガンの演奏を鑑賞した。

曲目は、ハイドンの「交響曲第103番『太鼓連打』」、ロジャースの「サウンド・オブ・ミュージック セレクション」、パッハの「トッカータとフーガ ニ短調」ほかであった。

●球技大会

梅雨のあいまの晴れの天候にめぐまれ、高校は六月十四日(水)、中学は六月二十六日(月)に予定通り実施した。ドッジボール、バレーボール、卓球、バドミントン、バスケットボールにと覇を競った。

●花の日礼拝

花の日特別礼拝として、六月十六日(金)には、聖歌隊合唱、ハンドベルの演奏による

賛美礼拝を持ち、十七日(土)には、花を持ちより、あわせて募金による花を持って、京都市内を中心とする各施設を訪問した。

国際中高

●高校二年生保護者会

一月二十二日(土)
教務主任が今年度の進路状況について説明し、学年主任より沖縄研修旅行についての説明を行った。

●中学合唱フェスティバル

二月十二日(土)
今年も、京田辺市の一人暮らし老人の会「むつみ」の皆さんを招待して、合唱フェスティバルを開催した。各クラスごとに、この日のために練習してきた曲や全員の大合唱を披露。今年は教員有志が練習を積んだ合唱もあり、おおいに盛り上がった。

●三学期終業式

卒業式

三月八日(水)
三月九日(木)
中学 九十四人、高校 二百四十六人の生徒たちが、希望に満ちてそれぞれの道に新しい一歩を踏み出した。

●入学式

四月六日(木)
今年も国際中学校・高等学校での勉学に

希望を抱いて、多くの新入生が入学した。

中学一年生 八十二人 二年生 十二人

三年生 四人

●ローレンスビルスクールへの短期留学

三月二十一日(火)～四月二十三日(日)
高校一年生 二百三十五人 二年生 一人
高校二年生五人が本校の姉妹校であるアメリカ、ニュージャージー州のローレンスビルスクールに短期留学し、約一カ月間、有意義な体験を積んだ。

●宿泊研修

高校 五月八日(月)・九日(火)
中学 五月十一日(木)・十二日(金)
例年通り、京都厚生年金休暇センターに宿泊。同志社国際で学ぶことの意義について勉強した。入学して最初の行事でもあり、お互いを知る良い機会にもなった。

●中学遠足

六月十三日(火)
好天に恵まれ、各学年ごとに遠足を実施。教育実習期間でもあり、実習生も同行して楽しい一日を過ごした。

一年 宇治 天ヶ瀬森林公園
二年 ガリバー青少年旅行村
三年 山城町森林公園

●高校球技大会

六月十三日(火)

雨が心配されたが、曇り空の下、クラス対抗でバレーボール大会が行われた。それがクラスTシャツを着て、元気にプレイを楽しんだ。

●保護者会

六月二十二日(木)

授業参観の後、保護者会、クラス懇談を実施。多数の保護者の参加をみた。

●サマーセッションへ出発

六月二十七日(火)

例年通り高校二年生八人が姉妹校であるアメリカのフィリップスアカデミーにサマーセッション参加のため旅立った。

中学校

●入学式

四月五日(水)

新入学生 三百二十五人

●新入生オリエンテーションキャンプ

四月十七日(月)～十九日(水)

二期に分けて、近江八幡国民休暇村

●新入生創立者墓参

四月十七日(月)、十九日(水)

●遠足(二、三年生)

四月十九日(水)

二年生は雨のため琵琶湖博物館の見学、

三年生は滋賀県希望ヶ丘で、飯盒炊さんしながら、新クラスメートとの親睦をふかめた。

●生徒会委員研修会

四月十四日(金)、十五日(土)

宇多野ユースホステルで、生徒会執行委員と三年ホームルーム委員による研修会

●一年生保護者のための学校生活案内の集い

五月十一日(木)

教科・校務よりの説明と施設・クラブ見学

●生徒大会

五月十二日(金)

●ヌエバ・スクール生との交流

五月十八日(木)、十九日(金)

米国サンフランシスコ郊外にある同校の中三男女十一人が訪問。日本語を学習しているので一人がクラスに入り、授業及びクラブ活動に参加、生徒同士交流した。

●全校健康診断

五月二十四日(木)

●教育実習

五月二十九日(月)～六月九日(金)

●春季宗教教育強調週間

六月五日(月)～九日(金)

「神様からのギフト」

堀江有里先生(向島伝道所牧師)

「よきおとずれ」

荒井真理先生(パウネットジャパンスタッフ)

「私に語りかける神」

一木千鶴子先生(丹波新生教会牧師)

「良い土地に種をまく」

井上勇一先生(関西セミナーハウス所長)

●花の礼拝・施設訪問

六月九日(金)

「無意味から意味へ」

山田真理先生(上鳥羽教会牧師)

放課後、花をもってホザナとハンドベル

部員及び有志三十余人が盲養護老人ホーム

「船岡寮」を訪問、交流した。

●英語暗唱大会

六月二十三日(金)

●夏期キャンプ

一年生(全員参加)

七月二十二日(土)～三十日(日)

四期に分けて各期三泊三日で、宮津市由良の本校キャンプサイトで。

二年生(自由参加)

七月三十一日(金)～八月二日(水)

四期に分けて各期三泊四日で、長野県白馬村岩岳をベースに、唐松岳に登り、桐池自然園を見学した。

幼稚園

●やきいもパーティー 一月十九日(水)

園児全員でお庭でたき火を囲み、やきいもを食べた。

●一月お誕生日会 一月二十一日(金)

午前中は園児に教員たちが寸劇・音楽などの出し物を行い、午後からはその月に誕生日を迎えた園児と父母・教員が昼食を共にし、ケーキにローソクをつけてお祝いをした(毎月一回行われる)。

●園外保育 一月二十八日(金)

園児全員で防災センターへ出かけ、火事や地震の体験をしたり、映画を観た。

●参観日 二月一日(火)～八日(火)

二月一日(火)、赤組の自由あそびや各お部屋での保育の様子を父母に見ていただいた。同じく三日(木)には桃組、四日(金)には青組、七日(月)には緑組、八日(火)には紫組の参観が行われた。

●親子クッキング 二月二十四日(木)

年長組の親子でキャリエールクッキングスクールへ出かけ、クッキーなどを作り、卒園前の楽しい思い出となった。

●お店やさんごっこ 二月二十九日(火)

園児全員で廃材を利用して製作したりクッキングをして、お店やレストランごっこを楽しんだ。

●お別れ運動会 三月二日(木)

園児全員と父母で、かけっこやパラバルーン、ダンスなどを楽しんだ。

●歌と芝居のコンサート 三月三日(金)

園児全員でバイオリンとピアノの演奏やお話を聴いて楽しんだ。

●ひなまつり会食 三月七日(火)

園児全員で、焼きそば、フルーツポンチなどを食べた。

●卒園礼拝と謝恩会 三月十三日(月)

午前中は年長組の親子で中学校チャペルで礼拝をし、午後からは幼稚園で昼食を共にし、ゲームをしたり歌を歌った。

●保育修了式 三月十六日(木)

年長組(四十一人)の園児が証書をもらい、お別れの言葉や歌を歌った。

●入園式 四月十二日(木)

三歳児三十七人、四歳児三人が入園。

●イースター 四月二十二日(土)

園児全員でイースターのお話を聞き、ゆでたまごを持って帰ってお祝いをした。

●同窓会 四月二十七日(木)

午後から卒園生(小学校一年生)が、ゲームをしたりおやつを食べて過ごした。

●懇談会 五月八日(月)、九日(火)、十二日(金)

年少組、年中組、年長組のクラス懇談会が行われた。

●園児大会 五月十一日(木)

年長組の親子が植物園へ出かけ、春の自然を楽しんだ。

●遠足 五月二十三日(火)、二十五日(木)

年少組は梅小路公園、年中組は動物園、年長組は宝ヶ池公園へ。

●参観日 六月五日(月)～七日(水)

九日(金)、十二日(月)、十三日(火) 五日は赤組、六日は桃組、七日は青組、九日は紫組1、十二日は紫組2、十三日は緑組の参観が行われた。

●花の日礼拝 六月十五日(木)

園児たちが花を持参し、感謝の礼拝を行った。

●親子親睦会 六月二十日(火)

園児全員と父母で食事を共にし、ゲームをしたり歌を歌って楽しんだ。

●開園記念日(バザー) 六月二十四日(土)